

経営比較分析表（令和6年度決算）

埼玉県 滑川町

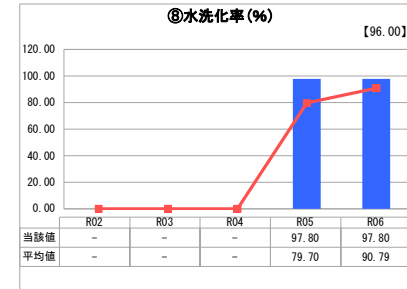
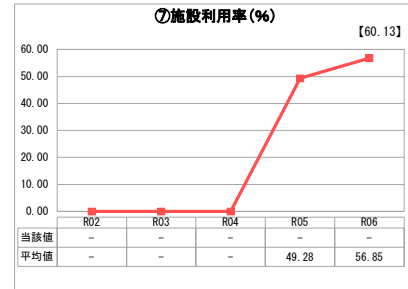
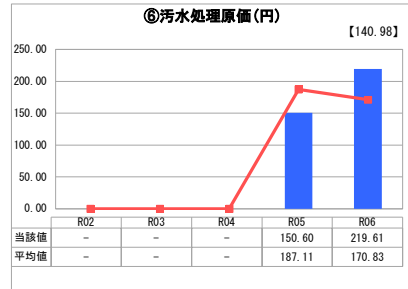
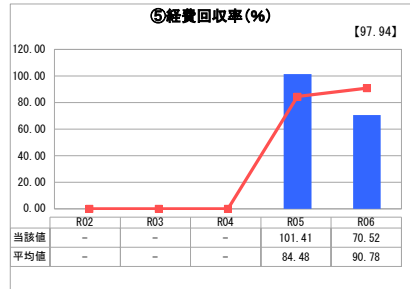
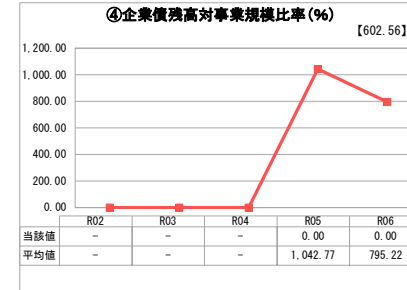
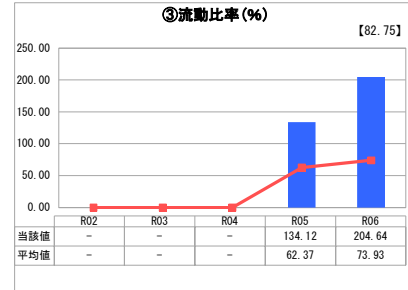
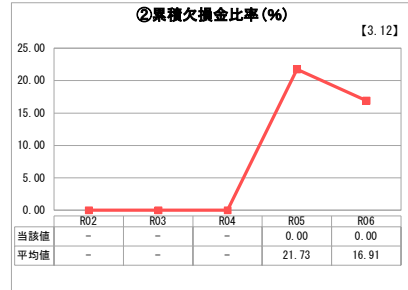
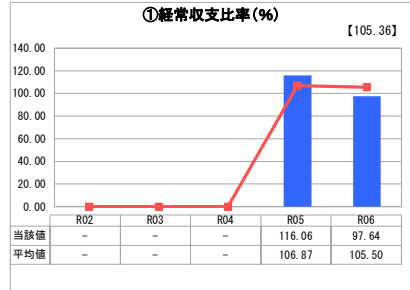
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家産料金 (円)
-	76.36	56.40	90.62	2,530

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
19,757	29.68	665.67
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
11,141	2.80	3,978.93

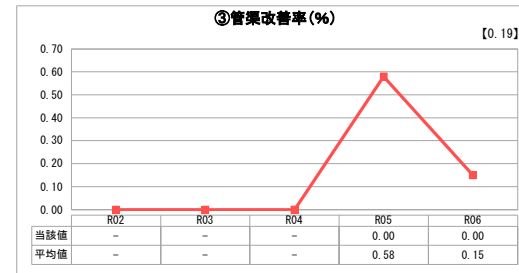
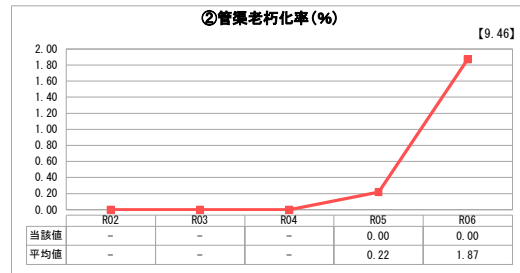
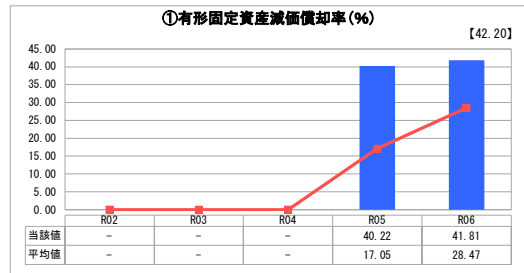
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率
100%を下回っている状況です。下水道使用料の改定を行うため、今後回復する見込みとなっておりますが、引き続き経費削減など経営改善に向けた取り組みが必要です。

② 累積欠損金
累積欠損金は発生していません。今後も安定した経営に努めます。

③ 流動比率
100%を超えています。今後も、現金の確保に向けた取り組みを継続して行っていきます。

④ 企業債残高対事業規模比率
企業債については一般会計繰入金金を充てているため0となっております。

⑤ 経費回収率
前年度から大きく下がっている状況です。使用料収入は横ばいですが、汚水処理費が増えたため、回収率に影響しています。下水道使用料の改定に加え、効率的な維持管理等を行い、経費回収率の改善に努めます。

⑥ 汚水処理原価
類似団体平均値、全国平均値ともに上回っている状況です。効果的な汚水処理を図る必要があります。

⑦ 施設利用率
当町は県の流域下水道処理施設を利用しているため、該当なしとなっております。

⑧ 水洗化率
水洗化率は高い数値を維持していますが、今後も

2. 老朽化の状況について

平成6年から供用を開始し、令和6年度で30年を迎えましたが、耐用年数には達しておらず、管渠改善率0%となっております。毎年実施しているカメラでの点検調査等で管渠等の状況を確認しながら、ストックマネジメント計画に基づき計画的な更新を行ってまいります。

全体総括

当町では、現在下水道の大規模な整備は行っており、既存の下水道管や中継ポンプの維持管理や修繕を行っている状況です。使用料収入は横ばいとなっている一方で維持管理等の費用は上昇しています。一般会計繰入金で補填しながら経営している状況となっており、改善が必要です。また、後は施設の改修等も見込まれ、財源を確保するため令和8年度から使用料の改定を行います。使用料収入を確保し、効率的な維持管理を行い、経営戦略に基づいた安定的な経営に向けて努めていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。